

実施年度	令和 元 年度
提案種別	<input checked="" type="checkbox"/> 市民提案型 <input type="checkbox"/> 行政提案型
事業の名称	富士見ぞう列車がやってきたコンサート
団体名	富士見みんなでプロジェクト
担当課名	地域文化振興課

【評価の内訳】

協働事業の評価	評価数
当該協働事業を実施したことで、具体的に市民サービスが向上する等、適切な協働事業として評価できるものである。	7
ほぼ適切な協働事業として評価できるものである。	2
協働事業として、うまく機能しなかった。	0

【事業に関する意見】

1	市民をまき込み、市民みんなで盛り上げるコンサートができたと思う。担当課の意見にあったように、このような企画を推進・実行できる人財を発掘できたことが、この事業の成果だと思う。また、プロジェクト・リーダーにはぜひ継続してほしい。
2	この町に住み、育っていく子どもたちにとって、とても良い思い出に残るコンサートであったと思う。
3	公募により64名の方々が参加し、13回も練習を重ね、キラリメインホールに来場者540名、文化の芸術のすそ野を広げられたと思う。
4	平和都市と文化都市、富士見市の目指すまちをぞうれっしゃがやってきたコンサートとして実現する市民ならではの発想を協働で実現させた。継続させていただきたい。参加費が必要であるにもかかわらず、多くの市民や子どもたちの参加を得られたことは評価できる。 この公演には、かなり費用がかかり、補助金の割合は少ない。このような状態で補助金なしで、今後継続させられるか、やや心配ではある。その為には入場数を増やす必要があり、それには市民が来なくなる魅力が必要となるだろう。今後いろいろなプロジェクトを企画されることと思うが、プロジェクト・リーダーの益々の活躍を期待する。
5	実践者の育成などの組織作りや、事業の見える化等をする、開催がもっとスムーズになると思う。
6	本取組は継続することによって文化芸術の振興に寄与されると思う。できればコンサート本番を迎えて終わりではなく、その後の参加者の心境の変化や思いなど後追いができればなお良いと感じた。 アンケート結果をみても記述が多く参加者の興奮がとても伝わります。ご意見もありましたが、それだけ本取組みに対して今後の期待や関心が高い証拠だと思います。 公募市民の方々にとっても練習で練り上げた成果を大勢の前で発表することができたこと、多世代で一丸となつて一つのことに集中し取り組んだことなど貴重な体験になったのではないかと感じます。 ぜひ今後も継続して活躍していただきたいです。

7	<ul style="list-style-type: none"> ・公募での合唱団員の募集、プロの音楽関係者の指導体制の確立、練習計画の立案実施、本番当日の運営と確実な実施団体の活動と、計画に沿った会場の確保と広報等の情報活動に尽力した担当課の協働で市民サービスに寄与したことで高い評価に値する。 ・当日650名近くが一つのコンサートに関わったのは大成功であったと思う。 ・練習や取り組みの様子は見たり聞いたりできなかったが、DVDと文書発表での、当日の発表者の笑顔から、明るく元気に取り組んだのであろうと思われた。 ・公募での64名の参加者を得たことに、主催者と担当課の努力の成果が現れている。 ・市民参加型の文化事業（コンサート）の実施で文化事業の振興、市民の連帯感の向上、多世代の高い文化度の環境育成を目的として、富士見市次世代の担い手たる子どもたちの感性や心を豊かにし、これからの厳しい世の中を生き抜く力や絆の大切さを気付かせたと思う。 ・取り組みの中で、参加者の多世代間交流も大きな成果だと思う。 ・本事業への応募者が13回の練習機会を得て、プロの音楽家・演奏家と交流をしたことは、市全体の音楽文化の向上につながったと思う。 ・参加した子どもたちにとって、学校教育以外での音楽文化に深く触れて文化のすそ野の拡大につながったと思う。
8	<p>富士見市に居住することへの満足感が協働事業によって得たような気持ちが受け取れる。</p>
9	<p>“キラリ”という富士見市の代表的な文化施設をうまく活用し、スタッフ等総勢650名という大きなイベントを成功させたことは、それだけで評価に値すると思われる。事前の準備と練習も周到にされていたようで、好感が持てた。また、行政側の関わりも資料から明確に見て取れた。本事業の主旨である“協働”事業の良好事例と言えるであろう。</p> <p>団体側のやりたい活動と、それに対して如何に対等な立場で行政が参画し、支援していくのか、そのマッチングが成功の鍵を握ると思われるが、なかなか難しいのが実情かと拝察される。</p> <p>今回の事例（2件）は、その好例と言えるのではないであろうか。規模の大小が好対照であり、今後、活動を検討される方への先例として紹介し、活動の継続をさらなる発展につながることを期待する。</p>